

# 武雄見聞録



山内町黒髪山



北方町四季の丘公園



武雄温泉楼門



武雄温泉新館



飛龍窯



武雄の大楠

# も く じ

1. 武雄市の概要 . . . P. 1  
(1) 沿革 (2) 位置 (3) 歴史 (4) その他 (5) 観光客数の推移
2. 武雄温泉 . . . P. 3  
(1) 温泉の歴史 (2) 温泉の泉質 (3) 楼門  
(4) 殿様湯 (5) 武雄温泉新館 (6) 利用施設 (7) 市有泉源
3. 宿泊施設 . . . P. 5
4. 陶 芸 . . . P. 7
5. 観光資源 . . . P. 9  
(1) 木造四天王立像 (2) おつぼ山神籠石 (3) 青銅製大砲  
(4) 円心寺 (5) 武雄神社 (6) 川古のクス  
(7) 武雄の大楠 (8) 塚崎の大楠 (9) 御船が丘梅林  
(10) 御船山楽園 (11) 陽光美術館・慧洲園 (12) 文化会館庭園  
(13) 武雄温泉保養村 (14) 県立宇宙科学館“ゆめぎんが”  
(15) 竹古場キルンの森公園「飛龍窯」 (16) 土師場物原山  
(17) 武雄・嬉野メルヘン村 (18) 如蘭塾  
(19) 武雄温泉物産館 (20) 鎌倉水 (21) エポカル武雄(図書館・歴史資料館)  
(22) 黒髪山 (23) 乳待坊公園 (24) 神六山  
(25) 道の駅山内・なな菜 (26) 大聖寺 (27) 高野寺  
(28) 北方四季の丘公園 (29) 長崎街道(塚崎宿周辺地図)  
※国・県・市指定重要文化財、史跡、天然記念物等一覧表 . . . P. 19～23
6. 民俗芸能 . . . P. 24  
(1) 真手野の舞浮立 (2) 大日の皮浮立 (3) 武雄の荒踊  
(4) 袴野面浮立 (5) かんこ踊 (6) 山内の浮立奉納  
(7) 志久七囃子浮立 (8) 武雄供日の流鎚馬行事 (9) 黒髪神社の流鎚馬神事
7. 特産品 . . . P. 26  
(1) レモンガラス (2) 黒商品 (3) 若楠ポーク  
(4) いのしし
8. 武雄市内のイベント . . . P. 27
9. 周辺観光地 . . . P. 29
10. 各施設問合せ先 . . . P. 30

## 1. 武雄市の概要

### (1) 沿革

本市は、佐賀県の西部にある人口約 52,000 人の温泉都市で、平成 18 年 3 月 1 日に旧武雄市・山内町・北方町の 1 市 2 町が合併し誕生した。

大部分が山地で山林面積は 50% を占め、松浦川と六角川の源流を持ち、武雄盆地内を武雄川・高橋川などの小流が六角川に注いでいる。市の中心部には、舟の形をしたシンボリックな山「御船山」、西部には谷を挟んで向きあう雌岩・雄岩、「21 世紀に残したい日本の自然百選」にも選ばれた「黒髪山」、樹齢 3,000 年を越える 3 本の大楠があり、雄大な山々と豊かな自然に囲まれている。黒髪山や杵島山、八幡岳などの雄大な山々に囲まれた盆地型地形のため、内陸的な気候を呈している。

また、1,300 年の歴史を誇る温泉郷、400 年以上の歴史を誇る陶芸の里、そして巨木の里としても広く知られている。

### (2) 位置

東経：130° 01′ 北緯：33° 11′ 面積：195.44 km<sup>2</sup>

武雄市は、長崎自動車道武雄北方インターチェンジがあり、博多から JR で 1 時間、有明佐賀空港から車で 40 分、長崎空港から車で 40 分（高速利用）の所に位置し、西九州における交通の要所・宿泊拠点となっている。

### (3) 歴史

武雄に人が住み始めたのは発見された打製石器から約 1 万年前と推定されている。弥生時代や古墳時代の遺跡としては、武雄盆地内に多くの遺跡がある。その中でも「杵島山遺跡」や「潮見古墳」は県下でも副葬品が多いことで有名で、出土品全部が県の重要文化財に指定されている。

7 世紀後半には、外敵の侵入を防ぐための山城「おつぼ山神籠石」（国の史跡）が造られたことから、この武雄が重要な所と見られていたことがわかる。

8 世紀前半の天平年間に作られた「肥前風土記」の中には、武雄温泉について温泉発祥の伝説や、杵島郡の成り立ちの記述がある。

鎌倉以降、武雄では塚崎庄の領主後藤氏や武雄神社神官などが中心となり、その後、後藤氏が勢力を伸ばして、現在の武雄町・山内町そして伊万里市の一部にまで領域を広げていった。

豊臣秀吉の時代になると、全国の大名家たちは朝鮮出兵前や帰国時に入浴のために武雄温泉を訪れた。また、武雄領主も従軍し、帰国時には、朝鮮半島の陶工たちを連れ帰り、この地で陶器の製造を始めたのが武雄の焼物の起源である。

江戸時代になると、武雄領は秀吉時代の半分以上となった。その後武雄領主 21 代茂綱以降は、鍋島を名乗るようになった。幕末の茂義、茂昌の時代には、佐賀藩の礎として軍備改革に努め、1835 年に日本人の手でモルチール砲が初めて造られ、現在エポカル武雄に展示されている。

明治 22 年に政府の憲法制定公布に伴い、武雄では 18 ヶ村が 1 町 7 村に、山内では 5 ヶ村が 2 村に、北方では 4 ヶ村が 2 村となり、幾度かの合併を経て、平成 18 年 3 月 1 日に 1 市 2 町が合併して現在の武雄市となった。

#### (4) その他

- ・市の木…くすの木
- ・市の花…つつじ
- ・特産物…陶芸品、竹細工、茶、みかん、いちご、田舎みそ漬、水車米、チンゲン菜、若楠ポーク、手づくりハム、まんじゅう、黒米、住吉牛、レモンガラス、いのしし肉 など



#### (5) 観光客数の推移 (過去10年間)

(観光客数)

	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
日 帰 り	708	918	924	855	838	885	824	805	1,177	1,233
宿 泊	484	469	441	428	394	383	333	303	273	263
合 計	1,192	1,387	1,365	1,283	1,232	1,268	1,157	1,108	1,450	1,496
(発地別)										
県 内	448	624	637	680	652	582	587	569	748	594
九州地方	535	542	583	462	443	471	459	445	606	769
四国地方	30	32	10	9	9	4	7	6	7	6
中国地方	45	46	25	23	22	21	23	23	24	40
近畿地方	35	38	28	25	24	18	23	22	22	19
そ の 他	99	105	82	84	82	172	58	43	43	68

(単位：千人)



黒髪山 雌岩・雄岩

## 2. 武雄温泉

### (1) 温泉の歴史

1,300年も前から知られた古湯で、天平年間(729~749)につくられた「肥前風土記」の中では、「郡の西の方に温泉の出る処があるが、岩が非常に険しいので人があまり行かない。」と記され、古くは神功皇后も入浴されたという伝説がある。(この古事にちなみ‘つかさき温泉’と呼ばれていた。)

また、文禄・慶長の役の際、入湯に来た兵士に対して湯治客に迷惑をかけないようにと、豊臣秀吉が示した入湯心得の古文書「定条々」が保存されているのをはじめ、歴史上名高い伊達政宗や宮本武蔵、伊能忠敬、シーボルトなどの入湯記録や伝説も残っている。

### (2) 温泉の泉質

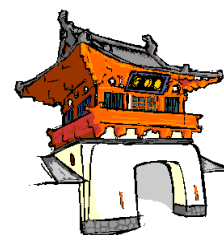
泉質…単純泉(低張性弱アルカリ性高温泉)

特徴…透明で柔らかな湯ざわり

効能…(適応)疲労回復、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩

関節のこわばり、うちみ、くじき、健康増進、痔疾

(禁忌)悪性腫瘍、重い心臓病、出血性疾患



### (3) 楼門(国指定重要文化財)

温泉の入口に立つ朱塗りの楼門は、竜宮城を連想させる鮮やかな色彩と形で、天平式楼門と呼ばれ釘を一本も使用していない建築物である。東京駅を設計した辰野金吾の設計で大正3年上棟、大正4年4月12日に完成した。武雄温泉のシンボルとして、観光客だけでなく広く市民にも親しまれている。平成17年には国の重要文化財に指定された。

### (4) 殿様湯

江戸時代になると、武雄温泉は佐賀鍋島藩の所有となり、藩主だけが入湯できる専用の湯船も造られた。1826年には、シーボルトが入浴した様子が「江戸参府紀行」に紹介されている。その当時を偲ぶように殿様湯、家老湯と名付けられた浴室がある。

### (5) 武雄温泉新館(国指定重要文化財)

辰野金吾博士の設計で、楼門と同年の大正3年8月6日に上棟、翌年4月12日に完成。建てられた新館は時代の流れとともに老朽化が進み、平成3年の台風で崩壊寸前となった。平成12年の夏から復原工事が開始され、平成15年4月に武雄温泉新館として、大正初期に建てられた当時の華麗な姿が蘇った。復原の際には、大正天皇のために造られた幻の浴室も掘り起こされ、浴槽に使われた当時最も貴重だったマジョリカタイルや陶板デザインタイルを見学することができる。楼門とともに平成17年に国の重要文化財に指定された。

## (6) 武雄温泉利用施設

温泉名		料金		営業時間	その他
大衆浴場	元湯	大人 400 円	子供 200 円	6 : 30~24 : 00 (受付は 23 : 30 迄)	明治 9 年建立
	蓬莱湯	大人 400 円	子供 200 円	6 : 30~21 : 30 (受付は 21 : 00 迄)	ジェットバス付
	鷺乃湯	大人 600 円	子供 300 円	6 : 30~24 : 00 (受付は 23 : 00 迄)	露天風呂・サウナ付
殿様湯		1 室 1 時間あたり 3,300 円 (休日 3,800 円)		10 : 00~23 : 00 (受付は 22 : 00 迄)	4.5 畳・3 畳の 控えの間付
家老湯		" 2,500 円 (休日 3,000 円)			4.5 畳の控えの間付
家族湯	鶴・亀	" 2,200 円 (休日 2,900 円)			
	桜・松 つつじ	" 1,900 円 (休日 2,300 円)			

## (7) 市有泉源の概要

武雄市の給湯施設は、昭和 45 年に武雄簡易保険保養センターに給湯したのが始まりである。泉質はアルカリ性単純温泉で、泉源は 3 箇所ある。

	A 泉源	B 泉源	C 泉源
位 置	武雄町大字永島 18295-2	武雄町大字永島 18085-2	武雄町大字永島 18199
温 泉 発 掘	昭和 45 年 3 月 11 日	昭和 49 年 5 月 30 日	昭和 44 年 3 月 31 日
井戸の形状寸法	0~500m: φ140~66mm	0~200m: φ151.3mm 200~400m: φ73mm 400~500m: φ53mm	0~10m: φ166mm 10~57m: φ146mm 57~100m: φ86mm
泉 温	25.5℃	32℃~33.5℃: 孔底 43℃	27.5℃
自 噴 量	な し	120 t / 日	68 t / 日
泉 質		弱アルカリ性単純温泉	アルカリ性温泉

### 《給湯先》

池の上 A 泉源…休止中

池の上 B・C 泉源…御船山観光ホテル、武雄温泉ハイツ、四季のそら、武雄センチュリーホテル、武雄ユースホステル、みなと荘、清香奨学会、ペンションピクニック、県立宇宙科学館、日輪荘、競輪場、社会福祉法人誠和会、保養村エントランス、ニューハートピア、万葉の湯（福岡市）

### 3. 宿 泊

施設名	概要
御船山観光ホテル	ツツジ、桜、藤、そして紅葉など四季折々の花々を楽しむことができる。エステルームも完備。バイキングレストラン「歳時記」併設。
竹林亭	御船山楽園の庭園の中にある竹林に囲まれた数寄屋造りの建物。現天皇が皇太子の時に御宿泊されたことでも有名。露天風呂あり。
京都屋	ホテル内には大正浪漫を感じさせる雰囲気。送迎クラシックバス「浪漫号」で送迎。露天風呂あり。ミストサウナは女性に人気。
なかます	江戸中期からの老舗。初代柿右衛門の赤絵香炉や古伊万里の大鉢、西郷隆盛直筆の書など秘蔵の美術品を展示。
武雄センチュリーホテル	慧洲園庭園内の「離れ」など、ニーズに合わせた様々な部屋を完備。和洋中の食事が楽しめる。プール、テニスコート、チャペルあり。
ホテル春慶屋	武雄市街を見下ろす展望露天風呂からの眺めは絶景。
若松屋旅館	家族的雰囲気を楽しめる。
懐石宿 扇屋	蓬莱の間、洗月の間には専用露天風呂付き。平成5,6年日本温泉旅館大賞グランプリを受賞。
花月	大正浪漫の安らぎに満ちた格調高い日本建築。露天風呂あり。
東洋館	創業380年の伝統を誇り、宮本武蔵ゆかりの宿としても知られている。さまざまな趣向を凝らした部屋を用意。離れの部屋（温泉付）もあり。
白さぎ荘	四季折々の料理が楽しめる。館内はノスタルジックな雰囲気。
武雄温泉楼門亭	鷺ノ湯には露天風呂・サウナあり。
北方温泉四季の里 七彩の湯	温泉、食事、宴会、宿泊等が可能な温泉施設。敷地内には、家族湯・足湯・エステ・岩盤浴・露天付き客室などがある。
パーソナルホテル 遊	ビジネスホテル。武雄温泉まで徒歩4分。
セントラルホテル武雄	ビジネスホテル。武雄温泉駅南口前。朝食無料。
唐津屋	ビジネス旅館。長期滞在可。
油屋	ビジネス旅館。長期滞在可。
大島屋	ビジネス旅館。長期滞在可。
つるや	ビジネス旅館。長期滞在可。
入船	ビジネス旅館。長期滞在可。
武雄温泉ハイツ	各種宿泊プランを用意。ラウンジやカラオケ施設などもある。
奥武雄温泉 四季のそら	各部屋から武雄の街を一望できる。展望浴場・露天風呂あり。
ニューハートピア	湖畔にたたずむホテル。大浴場、露天風呂あり。
みなと荘	九州港湾福利厚生協会運営の宿。一般利用可。
武雄温泉ユースホステル	予約すれば夏のバーベキューやカヌー体験ができる。
ペンションピクニック	アウトドア体験（カヌー等）ができる。露天風呂あり。
佐賀県黒髪少年自然の家	黒髪山の麓にある団体・家族向け宿泊研修施設。
風の森	山林の中にひっそりとたたずむ隠れ宿。全室離れ（露天風呂付）

施設名	電話番号 (0954)	住所	収容 人数	駐車 台数	部屋 数	部屋の形態			1泊2食 (税込)	1泊朝食 (税込)	立寄り湯	バリアフリー対応状況	送迎バス
						和室	洋室	和洋					
御船山観光ホテル	23-3131	武雄町武雄 4100	191	100	37	36	ツイン1	—	12,000円～	7,250円～	800円(15時～20時)	車いす常備	県内(有料)
竹林亭	23-0210	武雄町武雄 4100			11	6	—	5	29,000円～	—	—	車いす常備・浴場に手すり 階段なし	
京都屋	23-2171	武雄町武雄 7266-7	140	80	35	35	—	—	13,800円～	—	1,000円(15時～21時)	エレベーター	武雄温泉駅まで
なかます	22-3118	武雄町武雄 7377	154	30	35	32	—	3	10,650円～	9,000円～	600円(16時～21時)	エレベーター 浴場に手すり	福岡・長崎(要予約)
武雄センチュリーホテル	22-2200	武雄町武雄 4075-13	130	300	47	10 特1	シングル6 ツイン27、ダブル3		12,750円～	10,125円～	1,000円(6時～24時半)	エレベーター・スロープ 専用トイレ	市近郊(要予約)
春慶屋	22-2101	武雄町武雄 7407	126	50	24	21	—	3	12,850円～	8,700円～	800円(15時～21時)	エレベーター・スロープ 大浴場に手すり	市内近郊(要予約)
若松屋旅館	22-3101	武雄町武雄 7400	45	10	15	14	ツイン1	—	10,650円～	6,400円～	2,500円(1時間貸切)	—	
扇屋	22-3188	武雄町武雄 7399	34	30	9	5	露天和室3 露天洋室1	—	15,900円～	—	1,000円 ※食事または宿泊された方のみ	—	駅まで送迎
花月	22-3108	武雄町武雄 7387	150	40	37	35	ダブル2	—	10,650円～ 休日前13,800円	7,500円～ 休日前10,650円	700円(平日15～21時) (土日祝12～21時)	エレベーター 浴室に手すり	福岡・長崎(要予約)
東洋館	22-2191	武雄町武雄 7408	90	30	24	18	シングル2 特室3	1	15,900円～	10,650円～	—	エレベーター・車いす常備 スロープ(取り外し可)	県内
白さぎ荘	22-2240	武雄町富岡 7476	40	12	10	7	ツイン1	2	6,000円～	4,500円～	—	—	県内
楼門亭鷺ノ湯	23-2111	武雄町武雄 7425	48	80	17	17	—	—	—	5,500円	大人600円 小人300円 (6時半～24時)	—	
北方温泉四季の里 七彩の湯	36-5926	北方町大崎 4300-1	41	200	11	4	ツイン2	5	8,600円～	5,350円～	大人600円 小人300円 (10時～23時)	専用トイレ・スロープ 大浴場に手すり	県内
パーソナルホテル遊	23-2007	武雄町武雄 7283	46	25	37	—	シングル28 ツイン9	—	6,450円～	5,350円～	—	エレベーター	
セントラルホテル武雄	20-1234	武雄町昭和 16-12	122	70	120	シングル110・ツイン2			—	5,700円～	—	エレベーター	
唐津屋	23-2071	武雄町武雄 7368	18	3	4	6	—	—	5,500円～	—	—	—	
油屋	23-2504	武雄町富岡 7746	24	3	7	7	—	—	5,000円～	—	—	—	
大島屋	23-7959	武雄町富岡 7745	15	7	7	7	—	—	5,500円～	4,500円～	—	—	
つるや	23-3992	武雄町富岡 7741	20	10	8	8	—	—	5,000円～	4,000円～	—	—	
入船	22-3886	武雄町富岡 7736	25	3	7	7	—	—	6,000円～	5,000円～	—	—	
武雄温泉ハイツ	23-8151	武雄町永島 18091	142	100	29	22	ツイン3	4	11,650円～	7,500円～	600円(8時～21時)	エレベーター・スロープ 専用トイレ・専用浴室	福岡・長崎(宿泊者のみ)
奥武雄温泉 四季のそら	23-8118	武雄町永島 16243	97	100	32	24	6	6	12,750円～	5,500円～	600円(11時～21時)	エレベーター・専用客室、トイ レ・スロープ・車いす常備	
みなと荘	23-6138	武雄町永島 16153	36	40	10	10	—	—	6,460円～	4,880円～	—	スロープ(玄関) 浴室に手すり	
武雄温泉ユースホテル	22-2490	武雄町永島 16060-1	80	20	14	2	12	—	5,400円～	3,900円～	—	—	
ペンションピクニック	20-0044	武雄町永島 16200	38	8	9	3	3	3	8,075円～	6,090円～	400円(11時～21時)	スロープ(1階) 浴室に手すり	駅まで送迎
佐賀県黒髪少年自然の家	45-2170	山内町宮野	210		30	5	—	25	大人210円、小人100円 (キャンプ…大人100円小人50円)		—	—	
奥武雄温泉 風の森	20-6060	西川登町小田志 17275	14	8	7	—	—	7	22,050円・25,200円(休日前)		—	—	

## 4. 陶 芸

武雄市内には陶器や磁器の窯元が約 90 軒以上あり、それぞれが趣向をこらした作品を生み出している。

武雄の焼物は、約 400 年前の豊臣秀吉の「文禄・慶長の役」の折に武雄領主後藤家信が連れ帰った深海宗伝を長とする朝鮮陶工団の手で窯を開かれたのが起源とされている。色彩は素朴で大胆、風合いは繊細で重厚であり、大らかでゆったりとした風合いが特徴。武内町を中心に市内に点在する。昭和 63 年には通商産業省の伝統的産業工芸品の指定を受けている。

山内町には、有田焼の白磁と、唐津焼の土物の窯元が多く存在する。山内町内だけでも 60 軒以上の窯元があり、現在も増え続けている。近年は伝統にとらわれず自由な作風の窯元やギャラリーが増えている。また市内にはたくさんの古窯跡があり、黒牟田系「鏑谷窯跡」「土師場物原山」や、内田系「小峠窯跡」「大谷窯跡」、磁器窯跡としての「百間窯跡」「筒江窯跡」などが有名である。土師場物原山は陶器の不良品を捨てたものが小山状の堆積をなしたもので、ほかの窯跡は丘陵の斜面を利用した階段状連房式の登り窯である。

### 《窯元の概要》

㊦…武雄古唐津焼協同組合

窯元名	住 所	電話番号	特 徴
汲 古 窯	武雄町永島	23-7401	茶道具や、可愛らしさのある花器が中心。
堤 工 房	武雄町武雄	23-3304	白磁の美しさを追求しながら作陶。
無 名 窯	武雄町武雄	22-3411	深海を思わせる青の器と、常に斬新な造詣が魅力。
八 ち 窯	武雄町永島	23-6672	野趣豊かな唐津焼の茶道具や雑器類を制作。
土 羊 窯	若木町川古	26-3007	やさしさや、ゆったりとした川の流れをイメージした子供の人形。
凌 山 窯	若木町川古	26-2422	青白磁・青磁や釉裏紅など、独自の磁肌が特徴。
巧 工 房	武雄町武雄	22-2982	ランプシェードはデザイン、豪華さから全国でも有名に。
金 子 窯 ㊦	武内町真手野	27-2307	多々良焼。素朴な形と自然釉、叩きの技法で土の温もりのある焼物。
宸 山 窯	武内町真手野	27-2753	造り手の指使いまでも感じられる素朴で親しみの湧く陶器。
康 雲 窯	武内町梅野	27-2745	辰砂で鮮やかな色が特徴。
壮 明 窯	武内町梅野	27-3263	四季の草花、そして武雄の自然をモチーフに製作。
丸田宣政 窯 ㊦	武内町真手野	27-2430	黒牟田焼。黒釉薬・緑釉薬の味わいと刷毛目の描線が特徴。
規 窯 ㊦	西川登町小田志	28-2138	李朝陶磁器の清楚さと力強さを粉引・刷毛目象嵌などの技法で再現。
五 城 窯	西川登町小田志	28-3202	女性ならではの可愛らしいデザイン。創作唐津焼。
松 保 窯 ㊦	西川登町小田志	28-2116	武雄南部系の化粧土を使って、日用食器を中心に製作。
六 平 陶 房	西川登町小田志	43-9292	日常生活で使いやすく安らぎのある白磁を作陶。
弓 野 窯	西川登町小田志	28-2068	彫文の美は「中島青磁」として有名。中島宏氏は国指定重要無形文化財「青磁」の保持者。(人間国宝)
内 田 皿 屋 窯	東川登町永野	23-3792	黒牟田焼。若い力が新しい黒牟田を造りだす。
小 山 路 窯	東川登町永野	23-2318	和紙染を中心とした技法。江口勝美氏は佐賀県重要無形文化財「陶芸染付和紙染」の保持者。
星 野 窯	北方町大崎	36-5743	世界でたった一つの器づくり体験ができる。
(株)アートヒルズ	山内町三間坂	45-4880	有田焼の伝統を基礎にした創作磁器人形。
ア ト リ エ 夢	山内町大野	45-3787	食器や小物等毎日の生活を楽しむオリジナル作品。
有田焼工業協同組合	山内町宮野	45-2501	有田焼の伝統を基に、独自の器を創作。
一 峰 窯	山内町宮野	45-4056	伝統の手書きの技は、逸品ぞろい。
今 心 工 房	山内町鳥海	45-3450	陶彩画という新感覚の焼物は鮮烈にして独創的。

いろえ工房	山内町宮野	45-2000	食卓と住まいに安らぎを与える作品。
花泉窯	山内町宮野	45-2059	花器の磁器・陶器を製作。
亀翁窯◎	山内町三間坂	45-5285	片手で膨らます独自の手法による作品は野趣に富む。
杵島製陶所	山内町宮野	45-2133	ガーデニング鉢専門の窯元。
玉峰陶苑	山内町宮野	45-2147	「銀河釉」という21世紀の器を創出。
金龍窯	山内町宮野	45-3438	店舗や大型施設に利用される磁器陶板の製作。
くろかみ窯◎	山内町宮野	45-3013	伝統的「叩き技法」で大物の壺や鉢などを製作。
光峰窯	山内町宮野	20-7065	花器を専門に、シンプルで味わいのある作品を製作。
高野路窯	山内町宮野	45-3500	素朴さと手作りの温もりが伝わる陶器。
寿山製陶所	山内町宮野	45-3179	
真光窯	山内町宮野	45-2353	ぬくもりの器に四季の移ろいと心地よさを託す。
仙里窯	山内町大野	45-5001	繊細な浮彫り・透かし彫り・山水彫りの技術を駆使。
惣太窯	山内町宮野	45-6185	手書きの器・カップなど使う人の気持ちを暖かくする。
千裕工房	山内町宮野	45-4771	
辻修窯	山内町宮野	45-4905	ひそかに息づく物たちを大胆かつ繊細に描き出す。
つつえ窯	山内町宮野	45-2582	唐津焼の伝統と、独自の「釉裏紅」が印象的。
貞土窯	山内町大野	45-2403	日々の暮らしの中で使える作品。
陶祥窯	山内町宮野	45-3006	渋い藍色の呉須を使った自由奔放な作風。
陶仙房	山内町宮野	45-4131	神秘的な色使いと造形美の美しさが持ち味。
東馬窯◎	山内町鳥海	45-3308	レングラス釉薬を使った作品が印象的。
桃林窯	山内町宮野	45-6186	黒髪山の奥深くにある工房には喫茶もある。
陶六窯	山内町宮野	45-4701	独自の白磁花瓶や置物彫刻は、比類なき芸術である。樋渡陶六氏は市指定無形文化財「陶磁器彫刻技法」の保持者。
中島陶芸	山内町大野	45-2508	自然やメルヘンをモチーフに製作。
和窯	山内町宮野	48-4270	
博泉陶芸	山内町宮野	45-2266	繊細さと迫力のある絵が物を言う。
葉月窯	山内町大野	45-4761	日常生活に使いやすいかわいい器からクラシックな作品。
花の音窯	山内町鳥海	45-2908	素朴で温かみのある作品。かわいい陶器の置物もお勧め。
葉山有樹窯	山内町宮野	45-2245	緻密さと洗練された絵柄は圧巻。
房空路	山内町宮野	45-2234	オリジナルな温かみのある食器。喫茶もあり。
宝寿窯	山内町宮野	45-3290	独特な多面体の酒器をはじめ、温もりのある器が特徴。
満山窯	山内町宮野	45-4047	白磁や青磁の美を求めた独自の作品。
茂右エ門窯	山内町犬走	45-2235	白磁創始とともに幾代にもわたり受け継がれる工房。
山口政勝	山内町三間坂	45-4133	伝統工芸士の手書きの技が光る。
遊遊窯	山内町宮野	45-3973	山内町の自然の雄大さが伝わる作風。
立泉窯	山内町宮野	45-2382	徳利・ぐい呑みなどの酒器専門の窯元。
侶英	山内町宮野	45-3632	大皿や花瓶など一筆一筆丁寧に手書きで仕上げる磁器や陶器。
童工房	山内町大野	45-3753	昔話をモチーフとした独創的な藍染の器。

《体験工房》

窯元名	住所	電話番号	特徴
武雄温泉新館	武雄町武雄	23-7622	絵付け・ろくろ・灯ろう製作など。火曜・水曜休み。
飛龍窯	武内町真手野	27-3383	楽焼き、絵付け、ろくろ・灯ろう体験など。火曜日休み。

## 5. 観光資源

### (1) 木造四天王立像…武雄町大字富岡 7438 廣福寺 TEL 0954-22-2649 (廣福寺)

寺伝によると仏師運慶作といわれているが、作風から鎌倉時代中期に慶派によって作られたと推定されている。極色彩の等身大の四軀で、持国天・増長天は邪鬼を踏み躍動的であり、広目天・多聞天は口を閉じて沈思の姿をしている。桧の寄木造で、内割りがあり玉眼（水晶）が施されている。大正4年（1915年）国宝に指定されたが、文化財保護法制定時に重要文化財として再指定された。この他にも、寺内には多くの指定文化財がある。

- ・銅鐘、六地藏、七地藏
- ・鬘蔓尊者像…文禄慶長の役の折、船の重しとしたものを持ち帰った。朝鮮渡りの石像。
- ・胡椒柿…聖一國師が宋から帰国するとき杖として持ち帰ったもので、それを逆さにして立てられたのが根付いたものだと言われている。
- ・犬切観音…犬が吠えるのに腹を立てた獵師が犬の首を切り落としたところ、その首が飛んで獵師を狙っていた大蛇をかみ殺して助けたため、獵師が悔いて犬の冥福を祈って建てられた。



《開館日》 ※要確認

《時間》 9:00~17:00

《拝観料》 300円（団体30人以上 250円）中学生以下 150円

### (2) おつぼ山神籠石…橘町大字大日

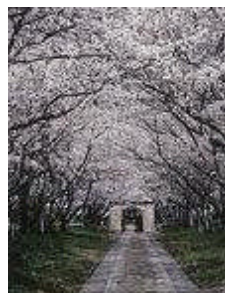
7世紀後半の構築と推定され、2ヶ所の水門跡や柵柱の跡から外敵の侵攻を防ぐ為の朝鮮式の山城であることが確認されている。列石の総延長は1,866mで、列石が取り去られているのは873m。列石の高さは70cm、厚さは40cm。残存の石の数は1,313個で、列石の前に柱穴が検出され、水門や門跡も発見されており、幅9mの土塁が確認されている。全国で8番目に発見され、国の史跡に指定されている。

### (3) 青銅製大砲…武雄町大字武雄 5304-1 武雄市図書館・歴史資料館 TEL 20-0222

青銅製大砲（モルチール砲）は、天保6年（1835年）に日本人の手で最初につくられた大砲である。武雄領主第28代鍋島茂義は、西洋科学に関心を持ち、天保3年（1832年）に部下の平山醇左衛門を長崎の西洋砲術第一人者高島秋帆の下で学ばせた。天保6年には、日本で最初の大砲「モルチール砲」を高島秋帆が武雄へ持参した。現在はエポカル武雄に展示されている。

### (4) 円応寺…武雄町大字富岡 10513 TEL 22-2336

円応寺は十一面観世音菩薩を本尊とする曹洞宗のお寺で、永正16年（1519）に第18代武雄領主後藤純明を開基、了然禅師によって開山された武雄鍋島家の菩提寺。武雄領主20代から代々のお霊屋があり位牌堂もある。参道に立つ2つの石門のうち、鳥居型石門は全体に強い反りがあり、両端は渦を巻いているのが特徴である。第2の門のアーチ型石門は切妻型の屋根で、両脇に石塀が付いているのが特徴である。正面アーチ上部の「西海禅林」の額石は、武雄領主第28代鍋島茂義が15,6歳の頃の筆と言われている。境内にある半鐘は1664年に佐賀の谷口一門による製造で、高さ51.5cm・口径30cmで、金工史上からみても注目すべきものである。また、春は参道の桜並木（3月中旬~4月初旬）も見事である。



### (5) 武雄神社…武雄町大字武雄 5335 TEL 22-2976

武雄神社は武雄町武雄の御船山の東麓にあって、市内で最も古い神社。武内宿禰（たけうちのすくね）を主神とし、平安時代中期から室町時代末期にかけての古文書（国指定重要文化財）が残っているほど由緒ある神社である。また、ここの鳥居は肥前鳥居と呼ばれ、バナナのような形をしたユニークなものである。石造文化史上でも大変貴重とされている。

### (6) 川古のクス…若木町大字川古 7843 TEL 26-2920 (川古の大楠公園)

全国巨木第5位、樹齢3000年以上と言われており、国の天然記念物に指定されている。樹高25m・幹回り21m、枝張りは東西・南北27m。本幹は空洞化しており西方で開口している。中には稲荷の石碑が祀られている。奈良時代に僧行基が訪れ、大楠の一部に観音立像を刻み、その頭部には六臂観音をはめ込んだという伝説がある。平成7年に「巨木の里づくり」の一環として川古の大楠公園が整備され、幹からはがれていた観音像も堂宇に祀られるようになった。

平成7年4月29日に開園した川古の大楠公園内の為朝館には、地元の伝説である源為朝による黒髪山の大蛇退治を題材としたカラクリ人形を設置。地元の伝説（黒髪山の大蛇退治）をカラクリ人形の劇で紹介する。この人形の衣装は、和紙人形作家の中西京子作である。また、明治時代に青木月斗がこの地を訪れた際に詠んだ句「福明かり 三千年の楠大樹」が句碑として建立され、臼4基と碾臼1基を備えた水車館も建設された。

**大楠公園為朝館** 《休館日》年末年始(12/28~1/3) 《営業時間》 9:00~17:00  
《料金》カラクリ人形上演 1回300円 (上映時間10分)  
※無料上演 10:00/12:00/15:00  
精米・製粉 200円/15k (6時間程度)

**参 考** 全国巨木1位 蒲生の大楠 (鹿児島県 八幡神社)  
2位 クスノキ (静岡県 来の宮神社)  
3位 ガジュマル (沖縄県 島尻郡東風平町)  
4位 北金ヶ沢のイチヨウ (青森県 西津軽郡深浦町)  
5位 川古のクス (佐賀県)・クスノキ (福岡県 築上郡築城町)  
7位 武雄の大楠 (佐賀県)



国指定天然記念物

※順位の基準…目の高さ(地上から約1.3m)で測った幹回り

### (7) 武雄の大楠…武雄町大字武雄 5330 武雄神社 TEL 22-2976

全国巨木第7位、樹齢3000年以上。樹高30m・幹回り20m、枝張りは東西30m・南北33m。市内最古の神社、武雄神社の神木となっている。象の足を思わせる根元がごつごつした樹皮に覆われ、その中央が地表近くで口をあけている。また広さおよそ12畳の内部には、天神が祀られている。



市指定天然記念物

### (8) 塚崎の大楠…武雄町大字武雄 5563-2 文化会館北側

県内第3位の巨木。樹齢は2000年とも3000年とも言われている。昭和38年に落雷に遭い、本幹の9m以上が失われた。樹高18m(南側の史枝)・幹回り13.6m、枝張りは東西18m・南北15m。また根回りが38mとかつては壮大な姿を誇っていたと思われる。



市指定天然記念物

**(9) 御船が丘梅林**…武雄町大字武雄 5166 清香奨学会 TEL 22-2256

御船山の東山麓一帯に広がる約 16 万 5,000 m<sup>2</sup>の敷地に、2 月中旬から 3 月上旬にかけて「一目 1 万本」の梅の花が咲き誇る。

《本数》 約 3,000 本 (樹齢 50 年、昭和 17 年に植樹)

《種類》 紅加賀、白加賀

《見頃》 2 月中旬～3 月上旬

《経過・由来》 昭和 17 年 1 月に日本と満州国の親善を目的に女性の方々を受け入れ、日本語教育をしようという計画により (財) 日満育英会が設立され、私立の「如蘭塾」が開校。

梅は中国の原産であり、日本では学問の神として信仰されている菅原道真が愛好した花である事から、敷地内の丘陵地約 5 万坪に 1 万本の梅を植え、教育環境の整備が図られた。現在でも当時植えられた梅、約 3,000 本が残っている。見頃は 2 月上旬～3 月中旬、御船山の麓に約 3000 本の梅が咲き誇り、期間中は茶屋がオープンする。入園料無料。

《イベント》

うめ〜ランド (5 月下旬または 6 月上旬の日曜日) うめちぎり、梅の種飛ばし大会など

**(10) 御船山楽園**…武雄市大字武雄 4100 TEL 23-3131

御船山山麓にある武雄領主鍋島茂義の別荘跡 (造園は 1845 年) で、3 月下旬になると 5,000 本の桜が御船山の切り立った断崖の緑を鮮やかな色彩に引き立てる。その後、4 月中旬から 5 月上旬にかけて 5 万本のツツジや藤 (4 月下旬～5 月上旬) や石楠花が、紅・朱・白・桃と華やかな色彩の世界を創り出す。特にツツジの開花時期には広い園内が一面、ツツジの絨毯を敷き詰めたようになる。



《営業時間》 年中無休 8:00～17:30

《料金》 通常 大人 400 円 / 子供 200 円 ※時期によって入園料が異なる。

《施設》 茶屋、土産店、レストラン「歳時記」

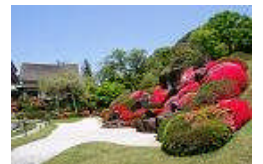
駐車場 300 台 (大型バス可)

**(11) 陽光美術館、慧洲園**…武雄町大字武雄 4075-3 (センチュリーホテル隣) TEL 20-1187

中国の古陶磁器や翡翠などの芸術品を展示。テーマごとに特別展を開催する。慧洲園は、九州随一と言われる約 4 千坪の純日本庭園。中根金作作庭による、茶畑と御船山を背景に、2,000 吨あまりの石組みの中を水が流れ、変化に富んだ植え込みで壮大な名園美を構成している。

《営業時間》 9:00～17:00

《料金》 個人…大人 1,500 円、学生 (高専大) 1,000 円、小中学生 無料  
団体 (15 名以上) …大人 1,200 円、学生 (高専大) 800 円



**(12) 武雄市文化会館庭園**

武雄領主第 28 代鍋島茂義によって造られた、九州屈指の庭園。春の桜・ツツジ・シャクナゲ、梅雨時期の竹林の新緑、秋の紅葉など四季折々の自然の美しさを堪能することが出来る。

**(13) 武雄温泉保養村…武雄町大字永島**

武雄市街地南部に広がる保養村（敷地面積 100ha）には、6 つの宿泊施設（武雄温泉ハイツ、四季のそら、ニューハートピア、みなと荘、ユースホテル、ペンションピクニック）と、緑の芝生が広がる公園がある。新鮮な空気を作り出す豊かな緑と、健康・美肌効果の高い温泉は、心身のリフレッシュに最適である。

《せせらぎプロムナード》 カニや小魚が生息し、5月下旬からはホタルの乱舞が楽しめる。  
 《蛭池・多目的広場》 森林浴やバードウォッチングが出来るリフレッシュゾーン。

《スカイバスのぼるくん》 TEL 22-5077

展望台と池の内湖を結ぶ全長 488mのスロープカー。平成 5 年 7 月 1 日運行開始。

【営業期間】 1/1～1/4・3/1～10/31（毎日） 【営業時間】 9：00～17：00  
 【料 金】 往復 200 円・片道 100 円 子供（就学前）無料  
 【所要時間】 7 分  
 【運 休 日】 1/5～2 月末・11/1～12/31 の平日 ※但し土日・祝日は運行



《観光ボート》 TEL 23-2854

保養村の宿泊者や地元市民が楽しめる観光施設として、池の内湖に白鳥ボート（ペダルボート）と、手漕ぎボート（ローボート）を設置している。また、ワカサギ・鯉・フナなども放流しているので、釣り人のメッカにもなっている。

【営業期間】 1/1～1/4・3/1～10/31（毎日） 【営業時間】 9：00～17：00  
 【料 金】 白鳥ボート…30分 450 円（定員 3 人）  
 手漕ぎボート…30分 380 円（定員 2 人）  
 【運 休 日】 1/5～2 月末・11/1～12/31 の平日 ※但し土日・祝日は運行



《ふれあいサイクル》 TEL 23-7020

保養村内をサイクリングできる。4 種類の自転車（マウンテンバイク 大 9 台、中 6 台・婦人用 7 台・幼児用 2 台・2 人乗り自転車 3 台）がある。シャワー室・トイレ完備。

【営業時間】 9：00～17：00 年中無休（天候により休館有）  
 【料 金】 1 回 2 時間 高校生以上 200 円・中学生以下 100 円

《保養村イベント》ほたるまつり（5 月下旬～6 月上旬にかけて）水上美味暮まんじゅう大会、ビンゴ大会、フリーマーケットなど

**(14) 県立宇宙科学館 ゆめぎんが…武雄町大字永島 16351 TEL 20-1666**

九州で最大規模の自然科学系博物館として佐賀県が総事業費約 80 億円を懸けて整備したものである。5 つの展示ゾーン（宇宙発見ゾーン、地球発見ゾーン、佐賀発見ゾーン、科学のおもちゃ箱、こどもの広場）と、最新式の投影機器を備えたプラネタリウムや天文台がある。

【開館時間】 9：15～17：15（平日）  
 9：15～18：00（土・日・祝）  
 9：15～19：00（GW・夏休み・春休み期間）

【休 館 日】 月曜日（春・夏休み・GW を除く）  
 12 月 29 日・30 日・31 日休館 ※土曜日は夜間プラネタリウム実施

【料 金】

	常設展観覧		プラネタリウム		館内フリー観覧	
	個人	団体	個人	団体	当日	年間
大人	500 円	400 円	500 円	400 円	900 円	3,000 円
高校生	300 円	240 円	300 円	240 円	540 円	2,000 円
小中学生	200 円	160 円	200 円	160 円	360 円	1,500 円

幼児	100円	80円	100円	80円	180円	1,000円
----	------	-----	------	-----	------	--------

**(15) 竹古場キルンの森公園「飛龍窯」**…武内町大字真手野 24001-1 TEL 27-3383

武内町黒牟田地区に、陶芸の里武雄の拠点として作られた世界の容積を誇る登り窯「飛龍窯」。これは、4つの房から成り、その一つの房の大きさは奥行き8.9m、幅3.8m、高さ3.4mで大型バス1台と同じくらいの規模である。全長は23mで、一度に約12万個の湯飲みを焼成することができる。園内には、貸し出しが出来る登り窯「向窯」もある。また、工房ではろくろや楽焼体験ができ、陶芸教室も行われている。

工 房	《開園時間》	9:00~17:00 火曜・12/28~1/3 休館
	《料 金》	絵付け体験・・・800~1,200円(30分程度) 手びねり体験・・・1,215円(45分程度) ろくろ体験・・・1,415円(15分程度)
	《工房貸出し》	向窯・ガス窯・電気窯・電動ろくろ(有料)



竹古場キルンの森公園「飛龍窯」

**(16) 土師場物原山**…武内町大字真手野

現在の黒牟田焼宣政窯のすぐ裏手にあり、陶器のかけらが捨てられて小高い山になっている。これは江戸時代中期から営まれた土師場物原窯の不良品捨て場である。黒牟田系の窯はこの一帯に集結しており、周辺を探索すると多種多様な品種を見つけることができる。俗に言う「くろんた徳利」「くろんたの土瓶」をはじめ、宗教用具に至るまで民俗的な香りをとどめている。

**(17) 武雄・嬉野メルヘン村**…西川登町大字神六 20040 TEL 28-2835

自然がいっぱいの森の遊園地。花とリスの王国で、プレイランド・アスレチック広場・草スキー場・バーベキュー広場・ミニ遊園地(ミニジェットコースター、観覧車、列車等…有料)などがあり、家族で一日楽しく遊べる。嬉野インターから車で5分。年中無休。

《営業時間》	9:00~18:00(3月~10月)、9:00~17:00(11月~2月)
《料 金》	大人1,000円、3歳~中学生600円、2歳以下 無料 団体(20人以上):大人800円、3歳~中学生480円



**(18) 如蘭塾**…武雄町大字武雄 4322 TEL 22-2256

昭和17年佐賀市の野中忠太が私財を投じ、日満友好のため中国の子女を留学生として受け入れて教育を行い、日本の文化や日本家庭の実情に親しませ相互理解を深め、日中友好の交流拠点とすることを目的とした。平成元年に復元され、現在は研修施設として活用されている。

また、奨学金貸与や留学生の受け入れ等の事業は、(財)清香奨学会が引き続き行っている。如蘭塾迎賓館の中には皇帝溥儀の弟溥傑の書や、梧竹の書などがあり、奇宿舍の一部は更紗資料館として利用されている。如蘭塾の設計は遠藤新(1889~1951)。武雄温泉楼門と新館を設計した辰野金吾の後輩であり、並び称される日本建築界の重鎮である。

**(19) 武雄温泉物産館**…武雄町大字昭和 805

観光の拠点として、焼物・銘菓・有明海の珍味をはじめ、西九州の物産や名産品を豊富に展示、販売している。また、市内の観光名所の紹介や旅館情報もある。食事や休憩に活用されている。

《営業時間》	8:30~18:00(年中無休)
《問い合わせ》	TEL 22-4597

**『おっ母さんの一膳めし屋』** TEL 22-4658

武雄の愛情野菜をふんだんに使った料理が並ぶ、セルフサービス方式のお惣菜料理屋。  
《営業時間》11:30~14:00

**『旬菜料理くう』**…北方町大字志久 175-9 TEL 36-2536

地産地消をテーマに、地元の旬の野菜、魚、肉を食べられる「旬食健美バイキングレストラン」。

《営業時間・料金》 昼 11:00～15:00 大人 1,200 円（中学生以上）、小学生 600 円  
夜 17:00～22:00 大人 1,800 円（中学生以上）、小学生 900 円

### （20）鎌倉水…武雄町大字富岡

1186年源頼朝は、平家討伐の戦勝報告の為に使者を武雄神社に参拝させたが、その折柏姫（柏姫は清和天皇の叔母で、清和天皇は源氏の先祖）の墓に浄水を捧げてお参りさせた。その汲んだ水が「鎌倉殿が汲んだ水」というところから「鎌倉水」と呼ばれている。この水は年間を通じて湧いており、干ばつにも涸れることはない。

### （21）エポカル武雄（図書館・歴史資料館）…武雄町大字武雄 5304-1 TEL 20-0222

図書館・歴史資料館・情報センターの機能を併せ持つ融合施設で、武雄の文化・学習活動の拠点として建設。エポカル（epochal）には‘新時代の・画期的な’などの意味がある。

《開館時間》 図書館 10:00～18:00（金曜日は19時まで）／歴史資料館 9:00～17:00

《休館日》 毎週月曜日・第3木曜日

（H21年9月～H22年2月は、月曜日を開館し、翌火曜日が休館日となることがある。休館日は、エポカル武雄のホームページに掲載されている。）

### （22）黒髪山…山内町大字宮野

黒髪山は至るところに奇岩、巨岩がそびえたち、その特異な景観は、約4千万年前の噴出によるものである。また、カネコシダ（国指定天然記念物）やクロカミランなど珍しい植物の宝庫で、「21世紀に残したい日本の自然百選」にも選ばれた。

黒髪山には天童岩に巻きついた大蛇を鎮西八郎為朝が退治した伝説や、山に入って消えた男女が夫婦岩になったという伝説が残されている。

昭和12年には県立自然公園に指定され、春夏秋冬それぞれで違った表情を見せてくれる山は、四季を通じていろんな楽しみ方ができる。

### 黒髪の森温泉‘天童の湯’（足湯・公衆浴場）…TEL 63-1164

黒髪山の麓にある温泉。大自然の中にたたずむ隠れ温泉で、山歩きやウォーキングで疲れた体をリフレッシュ。景勝黒髪山を借景に温泉が楽しめる。

《開館時間》10:00～21:00 《休業日》無休

《入浴料》足湯 大人100円・小人50円／公衆浴場 大人400円・子供200円・幼児100円

《泉質》ナトリウム-炭酸水素塩泉（源泉温度：40.8度）

### （23）乳待坊公園…山内町大字宮野

黒髪山地一の景勝地といわれる乳待坊公園。展望台からは黒髪山が一望でき、自然のすばらしさと黒髪山の神秘を感じることができる。かつてこの周辺は修験道の行場でもあったことから、うっそうとした森林と雄々しい奇岩がそびえる。桜や紅葉の名所としても親しまれている。

（乳待坊公園キャンプ場問合せ先：山内公民館 TEL 45-2139）



## 黒髪山（雌岩雄岩）

### （24）神六山…山内町大字鳥海

「緑と憩いの場」というキャッチフレーズのとおり、野鳥の森や遊歩道などが整備され、自然の魅力をたっぷりと体感できる。また、長崎県との境界にまたがるふれあいキャンプ場からは、有明海を臨むことができる。（神六山公園キャンプ場問合せ先：山内公民館 TEL 45-2139）

### （25）道の駅 山内「黒髪の里」…山内町大字三間坂甲 14697-2 TEL 45-6009

ドライバーの休憩所として、道を利用する人のために設置された道の駅。山内町の道の駅「黒髪の里」は、地元の新鮮野菜や黒髪ブランドの特産品「黒米」を使用したパンや麺、お土産が所狭しと並んでいる。また、焼物体験コーナーもあり、毎日たくさんの人で賑わっている。

《営業時間》 8:30~18:00

《休館日》 年末年始（12月31日~1月3日）

### 野のもてなし料理『なな菜』TEL 45-6012

地元農家が作った野菜を使い、化学調味料、添加物を使わない安全、安心な料理を提供している。常時 30~40 種類の季節のメニューを取り揃えており、バイキング形式で食事を楽しむことができる。黒髪山にちなんで「黒」の食材にこだわったアレンジ料理が人気。

《開館時間》 11:00~16:00（オーダーストップ 15:00）

《休館日》 年末年始（12月30日~1月3日）

《料金》 大人 1,200 円・子供（小学生）800 円・  
4 歳以上 400 円・3 歳以下 無料・75 歳以上 1,000 円



### （26）大聖寺…北方町大字大崎 6694

北方町の杉岳山にある大聖寺は、708 年に僧行基が開基したもので、不動明王と脇立二童子を安置している。寺宝の伝説には、鎮西八郎為朝が黒髪山の大蛇退治に向かうとき、大聖寺で祈願を行い無事退治したので、願成就に明王剣と大蛇の歯を奉納したとある。「アジサイ寺」とも呼ばれるこの寺は、6 月から 7 月にかけて境内一面に約 5,000 株のアジサイが咲き誇る。また、境内には県指定天然記念物のマキの木（推定樹齢 300 年以上）がある。

《開館日》 ※要電話確認 TEL 0954-36-4767/0954-36-4934

《拝観時間》 9:00~18:00

《拝観料》 200 円（美化協力費として）

《施設》 駐車場 50 台

《主な祭り等》 お不動さんまつり（年 2 回・2 月/8 月の第 4 日曜日）  
あじさい祭り（6 月上旬~末日）

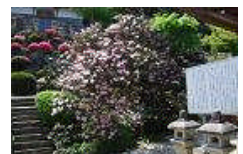


### （27）高野寺…北方町大字志久 3245 TEL0954-36-3616

鎌倉時代の古文書に、「いかなる罪人も高野寺の境内に走り候えば、その罪も免じる」とある高野寺。境内には約 20 種類 1,000 本の日本シャクナゲと西洋シャクナゲがあり、4 月~5 月にかけて見頃を迎える。

《開館日/拝観時間》 ※要電話確認

《施設》 駐車場有（大型バス 10 台可）



《主な祭り等》 シャクナゲ祭り  
(4月初旬～5月初旬 ※期間中拝観料 500円)

## (28) きたがた四季の丘公園…北方町大字志久

芝生広場・遊技広場・ふれあい広場のほか、春にはたくさんの花を咲かせる「花見の丘」、夏には涼しく遊べる「せせらぎ」「水辺広場」、秋には是非散策したい「紅葉の谷」など、四季折々の特徴を持ち、子供から大人まで楽しく遊べる公園。

公園内には炭鉱の資料館があり、昭和40年代まで続いた石炭産業にまつわる資料や、炭鉱で使用されていた採掘機器、写真パネルを展示している。2階には農業に関する道具や農作業の移り変わりを説明した資料を展示している。

《公園開園時間》 夏期(4月1日～10月31日) 8:30～21:00  
冬期(11月1日～3月31日) 8:30～17:00

## (29) 長崎街道

武雄地方の古代からの公路は、杵島山のふもとを塩田から橋を経て鳴瀬に至る経路であった。これが当時の国道であり、ここには史跡おつぼ山神籠石も存在する。

江戸時代の鎖国により日本では長崎が唯一の海外貿易の窓口になり、長崎から江戸への人馬の交通量が急速に伸び、長崎街道は重要な役割を果たすこととなった。長崎の出島から入ってきた海外の新しい文化や情報は、小倉までの全長228kmを通過して運ばれた。

市内の街道は、江戸時代の前期まで塩田から北方までの昔からの公路を通過していたが、たびたびの水害の為に往来ができないことが多かったので、享保年間(1716～1736)に「嬉野→川登→洲尾→武雄→朝日」のコースに変更された。

## ○北方宿

### 《北方本陣跡》

天保10年(1839)建立の本陣跡で、明治36年(1903)に茅葺から瓦葺に変えられた。当家は江戸時代商業を営み、その後炭鉱経営にも着手した。文化9年(1812)には、伊能忠敬も宿泊している。

### 《追分石》

北方宿から長崎街道と伊万里道の分岐点にあたり、「さか」「たけを」、裏側には「いまり」と書かれた追分石の斜め前には、問屋場や高札所があった。

### 《六地藏》

街道筋で出会う6基の六地藏は、そのほとんどが永禄年間(1558～1570)の建立で、戦国時代の度重なる戦禍が偲ばれる。

### 《追分観音》

街道の塩田道と武雄道との分岐点、その塩田道側にある御堂に観音が安置され、旅人たちは道中の安全を願って旅立った。

### 《十三塚》

十三の板碑が並ぶ十三塚は、戦国時代の供養塔と考えられている。伝説では、木元父子の免罪事件で処罰された役人十三人の塚と伝えられている。またこの墓地では寛延三年(1750)の諫早一揆で鎮撫官を命じられた多久領主が農民五名を処刑したといわれている。

### 《稲主神社》

第5代武雄領主後藤清明が稲主大名神として木元父子を祀ったといわれている。倉稲魂命や海津見神など、ここに祀られている十四神体は、稲作の守護神としてあがめられ、

初秋には五穀豊穰を祈願する浮立奉納が行われる。

## ○塚崎宿

### 《本陣》

参勤交代の大名や公家、あるいは幕府の奉行や諸大名たちが宿泊した最高級の宿で、今の温泉楼門を入ったところに湯屋（浴場）と隣接してあった。湯坪は身分別・階級別に区分されていた。御前湯といって、前もって馬の尾で作った細かい篩で漉した湯をたたえた藩主・領主専用の湯坪は最高級。シーボルトの「江戸参府紀行」にも記述があり、当時を偲んで「殿様湯」と呼ばれる浴室がある。

### 《脇本陣》

複数の大名が同じ宿場に泊まると、格式上位の大名が本陣に、他の大名は脇本陣を利用した。脇本陣は現在の東洋館の場所にあった。

### 《代官所》

間口 12 間の堂々たる建物で、現在の春慶屋の場所にあった。

### 《宮本武蔵の井戸》

二刀流で有名な剣豪宮本武蔵は、寛永 14 年（1637）島原の乱の時、平戸屋（現東洋館）に宿泊し、そのとき使ったとされる井戸が残っている。平戸屋に武蔵を訪ねてきた多久の百姓静馬が、父の敵討ちを果たすため、弟子入りして武者修行したいと申し出た。武蔵は、静馬を熊本に連れて帰り武芸を教え、その後無事に敵討ちを果たしたと伝えている。

### 《淀姫神社・芭蕉の句碑》

淀姫神社の祭神は、トヨタマヒメ。武雄第 2 代領主後藤資茂が武雄に下向したとき、温泉の守り神として祀ったと言われている。淀姫神社境内の自然の岩に、芭蕉の句が刻まれている。芭蕉が元禄 7 年（1694）に詠んだ「蓬萊に 聞かばや伊勢の 初だより」という名句である。この句は全国 7ヶ所 で刻まれている。隣の岩にも一句「しら菊や ほのかに句ふ 夕月夜」とある。作者は鶴堂仙で、武雄の人である。

### 《札の辻》

公儀のご法度や藩の覚書などの制札（高札）を掲示する高札場があり、近所には馬駅（馬次所）があった。高札は特に交通の多い街角の人の見やすい場所に設置された。高札を災害から守るため、24 人組ができていた。いざ火事というときには、この組からすぐ傍らの井戸に高札を沈め、石像の恵比須さんを重石にして守ったという。

### 《鍵型道路》

この道路は、雷光形をしており、敵が攻めてきた場合にはその勢いを殺ぐ、いわゆる戦略道路の一つであった。この一帯を十間掘という。この地名は、防火用水をためる為に掘られた、長さ 10 間の堀割が由来になっている。

### 《中村涼庵旧宅》

幕末の医師中村涼庵は、長崎でシーボルトの最新医学を習得して帰郷。天保 2 年（1831 年）武雄に帰り開業し、時の領主鍋島茂義の侍医となった。天保 10 年（1839 年）自分の妹の子と茂義の子茂昌に、日本最初の牛痘法による種痘を行い成功した。また涼庵は、長崎でオランダ医官ボードウィンについて研究を重ね、武雄では西洋医学の開祖とされた。明治 3 年（1870 年）には今の県立病院の前身である好生館の副院長に就任した。

### 《宮野町》

宮野町は寺町とも呼ばれていた。慶長 4 年（1599 年）、時の領主後藤家信のとき、山内町にあった居城住吉城が火災に遭ったため、御船山の古城塚崎城に移り、その時住吉村宮野地区にあった寺院とその町名まで移して宮野町と呼ぶようになった。狭い町内に浄土真宗のお寺が 10 寺集まっていた。しかし、当時は真宗に対する取締りが必要であっ

たことと、いざ戦争と言うときに兵の集結や連絡のことを考えてのことであった。現在は4寺が残っている。

#### 《鷺田神社》

大昔、武雄温泉一帯は人も近づけないほど険しいところで、巨岩奇岩の深い谷間があった。白鷺が毎日その谷間に舞い降りるので、一人の猟師が不思議に思い近づいてみると、白鷺が傷ついた足をお湯で洗っていたという。これが武雄温泉発祥の伝説の一つとなっている。里人は、温泉を白鷺の湯と呼び、白鷺は武雄温泉の象徴とされた。そこで白鷺の止まった森を「鷺の森」と名付け、小さい祠を建てて「鷺明神」を祀ったのが鷺田神社の由来である。

#### 《牛鼻山》

新町の東寄り一帯を昔は牛鼻山と呼んでいた。平安時代の末、若木町に館を構えていた源為朝は、領主助明に頼まれて有田町の白川に出没する大蛇を退治した。大蛇のうろこが牛の背に積まれ、太宰府に行くために武雄を通ったが、新町の西の入口までくると牛が鼻をついて動かなくなったという。以後この町は牛の鼻町と呼ばれ、明治になってから新町と呼ばれた。善念寺の山号は「牛鼻山」という。

#### 《西福寺》

文禄3年(1594年)住吉城の郊外に建立された浄土宗の古い寺。住吉城が消失し家臣が武雄に移住したため、この寺も現在地に移転。本堂にある阿弥陀如来像はいわくつきの物、半鐘は市の文化財指定。また、ここの山門は楼門の形をしている。

#### 《廣福寺》

※別所にて説明

#### 《諏訪神社》

13世紀末、第5代後藤清明の次男、次郎共明がその領地八並を与えられ分家し、館を定めたとき守護神として祀ったのが諏訪神社である。本社は長野県諏訪市にある。戦いの神、農業の神としてあがめられてきた。朝廷の崇敬厚い神様であった。祭神は、タケミナカタノ神、ヤサカトミノ神、戦の神、農業の神である。境内には伊勢講碑、裏手には「八並さん」と呼ばれる大きな五輪塔がある。

#### 《八並の石塔》

1193年源頼朝が、富士の裾野で催した「巻狩り」は、曾我兄弟の父の敵討ちで知られているが、父の仇がこの巻狩りに参加していることを知って忍び込み、無事に敵を討った。しかし、陣中は大騒ぎとなり兄の十郎は殺され、弟の五郎は捕らえられた。その後、十郎の許婚者虎御前は黒髪を切り落とし、兄弟の冥福を祈るために善光寺の尼さんになり、佐賀の小城の里に西国一といわれる岩蔵寺が建つと聞き九州に下り、その途中の中国と四国に石塔を建てて兄弟の冥福を祈り、三番目に建てたのが八並の石塔であると伝えられている。

#### 《武雄城跡》

別名を塚崎城ともいう。本丸・二の丸・三の丸をもつ城で、一国一城令で本丸を壊し、武雄領主の居館となり、領内の行政機関等もおかれていた。本丸西端部には当時の石垣が一部残されている。

# 国・県・市指定重要文化財・史跡・天然記念物等一覧表

(佐賀県武雄市教育委員会)

国指定11件、登録文化財3件

種別	名称	員数	指定年月日	所有者(管理者)	所在地	種別内容	
1	重要文化財	木造四天王立像	4軀 国宝 大正4年3月26日 重文 昭和25年8月29日 彫第2095号	広福護国禅寺	武雄町蓬莱町	建造物(彫刻)	
2	天然記念物	カササギ生息地	大正12年3月7日 内務省告示第57号	(佐賀県)	(別記)	動物	
3	天然記念物	川古のクス	1株 大正13年12月9日 内務省告示第777号	武雄市	若木町川古7843番地 外	植物	
4	天然記念物	黒髪山カネコンダ自生地	昭和2年4月8日 内務省告示第315号	宮野森林組合、個人2名 (武雄市)	山内町宮野 黒髪山	植物	
5	史跡	肥前陶器窯跡	市内 4箇所 昭和15年2月10日 文部省告示第64号	武雄市	武内町小峠 武内町大谷 武内町錆谷 武内町黒牟田	遺跡(古窯跡)	
		小峠窯					
		大谷窯					
		錆谷窯					
土師場物原山							
6	史跡	おつぼ山神籠石	1地域 昭和41年6月21日 文化財保護委員会告示第54号 平成16年9月30日 追加指定及び一部解除 文部省告示第149号	武雄市	橘町大日	遺跡(城跡)	
7	重要無形民俗文化財	武雄の荒踊	3団体 昭和52年5月17日 文部省告示第93号		宇土手荒踊保存会 高瀬荒踊保存会 中野荒踊保存会	東川登町宇土手 西川登町高瀬 朝日町中野	民俗芸能
		宇土手の荒踊					
		高瀬の荒踊					
		中野の荒踊					
8	重要文化財	武雄神社文書	25巻 (231通) 昭和54年6月6日 文第56号	武雄神社	佐賀県立図書館 (寄託)	古文書	
9	史跡	肥前磁器窯跡 百間窯跡	1箇所 昭和55年3月24日 文部省告示第49号	個人6名	山内町宮野	遺跡(古窯跡)	
10	重要文化財	武雄温泉新館及び楼門	2棟 平成17年7月22日 文部科学省告示第122号	武雄温泉株式会社	武雄町武雄550	建造物	
11	重要無形文化財	青磁	平成19年9月6日 工芸第171号	(保持者) 中島 宏	西川登町小田志	工芸技術	
1	登録有形文化財	如蘭塾塾舎及び寄宿舎	1棟 平成11年8月23日 平成11年9月7日 文部省告示第173号	財団法人清香奨学会	武雄町武雄 4322	登録番号 41-0012	
2	登録有形文化財	如蘭塾迎賓館	1棟 平成11年8月23日 平成11年9月7日 文部省告示第173号	財団法人清香奨学会	武雄町武雄 4322	登録番号 41-0013	
3	登録有形文化財	桑原家住宅主屋	1棟 平成17年7月12日 平成17年8月2日 文部科学省告示第126号	桑原ソヤ子	朝日町甘久1956番地2	登録番号 41-0052	

※ 天然記念物 カササギ生息地

(佐賀県) 指定地域⇒鳥栖市・三養基郡・神埼市・神埼郡・佐賀市・佐賀郡・多久市・小城市・武雄市・杵島郡・鹿島市・藤津郡

# 国・県・市指定重要文化財・史跡・天然記念物等一覧表

(佐賀県武雄市教育委員会)

県指定29件

種別	名称	員数	指定年月日	所有者(管理者)	所在地	種別内容
1	重要文化財 源頼朝加判 平盛時奉書	1通	昭和28年11月3日 重第4号昭和50年2月24日追加	武雄市	武雄市図書館・歴史資料館	古文書
2	重要文化財 銅造薬師如来立像	1軀	昭和34年3月20日 重第18号	歎喜寺	北方町芦原	彫刻
3	重要無形民俗文化財 かんこ踊	1団体	昭和41年4月23日 無(芸)第13号	かんこ踊保存会	山内町鳥海	民俗芸能
4	重要文化財 銅鉢	1口	昭和52年3月11日 重第47号	武雄市教育委員会	武雄市図書館・歴史資料館	考古資料
5	天然記念物 大聖寺のまき	4株	昭和53年3月20日 記第17号	大聖寺	北方町大崎	植物
6	重要文化財 潮見古墳出土遺物	1括	昭和54年3月31日 重第58号	武雄市教育委員会	武雄市図書館・歴史資料館	考古資料
7	史跡 潮見古墳	1基	昭和54年3月31日 史第22号	個人	橘町永島	遺跡(古墳)
8	重要無形民俗文化財 真手野の舞浮立	1団体	昭和54年3月31日 無民第21号	真手野舞浮立保存会	武内町真手野	民俗芸能
9	重要有形民俗文化財 荒踊絵馬	1面	昭和54年3月31日 有民第4号	鳥海区	山内町鳥海	絵画
10	重要有形民俗文化財 面浮立絵馬	1面	昭和54年3月31日 有民第5号	武雄市教育委員会	武雄市図書館・歴史資料館	絵画
11	史跡 矢ノ浦古墳	1基	昭和55年3月21日 史第23号	武雄市	武雄町永島	遺跡(古墳)
12	重要文化財 矢ノ浦古墳出土 変形帯甕鏡	1面	昭和55年3月21日 重第61号	武雄市教育委員会	武雄市図書館・歴史資料館	考古資料
13	重要文化財 矢ノ浦経塚出土遺物	1括	昭和55年3月21日 重第62号	武雄市教育委員会	武雄市図書館・歴史資料館	考古資料
14	史跡 筒江窯跡 (附)庚申刻字塔、再興記念碑、石祠各1基	1箇所	昭和56年3月16日 史第24号	個人7名	山内町宮野	遺跡(古窯跡)
15	重要文化財 茂手遺跡出土 有鉤釧形銅製品	1箇	昭和57年3月19日 重第73号	武雄市教育委員会	武雄市図書館・歴史資料館	考古資料
16	重要文化財 絹本着色阿弥陀 八大菩薩像	1幅	昭和60年3月20日 重第92号	広福護国禅寺	佐賀県立博物館 (寄託)	絵画
17	重要文化財 絹本墨画淡彩 善財童子歴参図	1幅	昭和60年3月20日 重第93号	広福護国禅寺	佐賀県立博物館 (寄託)	絵画
18	重要文化財 絹本墨画淡彩 楊柳観音像	1幅	昭和60年3月20日 重第94号	広福護国禅寺	佐賀県立博物館 (寄託)	絵画
19	重要文化財 絹本着色 釈迦三尊及び比丘像	1幅	昭和60年3月20日 重第95号	広福護国禅寺	佐賀県立博物館 (寄託)	絵画
20	重要文化財 木造釈迦如来座像	1軀	昭和60年3月20日 重第96号	広福護国禅寺	武雄町富岡	彫刻
21	重要文化財 銅造誕生仏	1軀	昭和60年3月20日 重第97号	広福護国禅寺	佐賀県立博物館 (寄託)	彫刻
22	重要文化財 みやこ遺跡出土 木製鞍前輪	1点	平成元年3月27日 重第122号	武雄市教育委員会	武雄市図書館・歴史資料館	考古資料
23	県重要文化財 椛島山一号及び二号石棺 墓出土遺物	一括	平成元年3月27日 重第119号	佐賀県立博物館	佐賀市城内一丁目	考古資料
24	県重要文化財 東宮裾遺跡甕棺墓出土遺物	一括	平成元年3月27日 重第120号	佐賀県立博物館	佐賀市城内一丁目	考古資料
25	史跡 玉島古墳	1基	平成2年3月30日 史第32号	武雄市	橘町大日	遺跡(古墳)
26	重要文化財 釈迦寺遺跡 出土遺物	1括	平成3年3月30日 重第130号	武雄市教育委員会	武雄市図書館・歴史資料館	考古資料
27	史跡 多蛇古墳	1基	平成6年3月31日 史第39号	武雄市	朝日町甘久	遺跡(古墳)
28	重要無形文化財 陶芸染付和紙染		平成6年3月31日 無第7号	(保持者) 江口勝美	東川登町永野	工芸技術
29	重要文化財 鶴田家文書 (因幡守勝系)	1括	平成9年5月9日 重第159号	個人	武雄市図書館・歴史資料館(寄託)	古文書

# 国・県・市指定重要文化財・史跡・天然記念物等一覧表

(佐賀県武雄市教育委員会)

市指定61件

	種 別	名 称	員 数	指 定 年 月 日	所有者(管理者)	所 在 地	種 別 内 容
1	重要文化財	大 砲	3門	昭和45年7月15日 市指第2号	武雄市	武雄市図書館・ 歴史資料館	工芸品
2	天然記念物	武雄の大楠	1株	昭和45年7月15日 市指第3号	武雄市	武雄市武雄	植物
3	重要文化財	武雄神社の肥前鳥居	2基	昭和48年2月20日 市指第4号	武雄神社	武雄町武雄	建造物
4	重要文化財	潮見神社の懸仏	1体	昭和48年2月20日 市指第5号	潮見神社	橘町永島	工芸品
5	重要文化財	銅 鐘	1口	昭和49年4月15日 市指第7号	広福護国禅寺	武雄町富岡	工芸品
6	重要文化財	石造八並の塔	1基	昭和49年4月15日 市指第8号	八並区	武雄町富岡	建造物
7	重要文化財	石造狛犬	1対	昭和49年4月15日 市指第9号	神六神社	西川登町神六	彫刻
8	重要文化財	武雄鍋島家文書	62通	昭和50年4月25日 市指第11号	武雄市	武雄市図書館・ 歴史資料館	古文書
9	重要有形民俗文化財	石造六地藏	1対	昭和53年3月9日 (山内町) 民第1号	定林寺	山内町宮野	民俗資料
10	重要文化財	石造六地藏	1基	昭和53年3月9日 (山内町) 有第1号	個人 (筒江地区)	山内町宮野	建造物
11	重要有形民俗文化財	石造六地藏	1基	昭和53年3月9日 (山内町) 民第2号	無動院	山内町大野	民俗資料
12	史跡	立中(塔頭)		昭和53年3月9日 (山内町) 記第1号	個人	山内町鳥海	墓域
13	史跡	住吉城趾	1城	昭和53年3月9日 (山内町) 記第2号	武雄市 個人	山内町宮野	遺跡(城跡)
14	重要文化財	石造宝篋印塔	2基	昭和54年4月12日 市指第14号	秀岩寺	若木町川古	建造物
15	重要文化財	円応寺の半鐘	1口	昭和54年4月12日 市指第15号	円応寺	武雄町富岡	工芸品
16	重要文化財	石造十三仏板碑	1基	昭和56年3月30日 (山内町) 重第2号	瑞応寺	山内町大野	工芸品
17	重要文化財	石造閻魔王像	1体	昭和56年3月30日 (山内町) 重第3号	小路地区	山内町宮野	工芸品
18	重要文化財	西光密寺の懸仏	3面	昭和56年3月30日 (山内町) 重第4号	定林寺	山内町宮野	工芸品
19	重要文化財	石造風神・雷神像	1対	昭和56年3月30日 (山内町) 重第5号	西光密寺	山内町宮野	工芸品
20	重要無形文化財	陶磁器彫刻技法		昭和58年3月30日 (山内町) 無(工) 第1号	(保持者) 樋渡義晴(陶六)	山内町宮野	工芸技術
21	重要文化財	牛ノ谷経塚出土品	1括	昭和58年6月6日 市指第17号	武雄市教育委員会	武雄市図書館・歴史資料館	考古資料
22	重要文化財	おつば山青銅経筒	1口	昭和58年6月6日 市指第18号	武雄市教育委員会	武雄市図書館・歴史資料館	考古資料
23	重要無形民俗文化財	志久七囃子浮立	1団体	昭和58年12月17日 (北方) 町指第1号	志久七囃子浮立保存会	北方町木ノ元、高野	民俗芸能
24	重要文化財	石造眼鏡橋 (宿田橋)	1基	昭和59年4月1日 (山内町) 重第1号	武雄市	山内町鳥海	建造物
25	重要文化財	西福寺の半鐘	1口	昭和60年4月22日 市指第20号	西福寺	武雄町武雄	工芸品
26	天然記念物	塚崎の大楠	1株	昭和60年4月22日 市指第21号	武雄市	武雄町武雄	植物(名木)
27	重要無形民俗文化財	大日の皮浮立	1団体	昭和62年4月1日 市指第22号	大日皮浮立保存会	橘町大日	民俗芸能
28	重要文化財	大 砲	1門	昭和63年4月26日 市指第23号	武雄市教育委員会	武雄市図書館・ 歴史資料館	工芸品

種 別	名 称	員 数	指 定 年 月 日	所 有 者(管 理 者)	所 在 地	種 別 内 容
重要無形民俗文化財	岡野面作立	1団体	市指第25号	岡野面作立保存会	栄川町岡野	民俗芸能
30	重要文化財	円応寺アーチ型石門	1基 平成5年4月30日 市指第26号	円応寺	武雄町富岡	建造物
31	重要文化財	円応寺鳥居型石門	1基 平成5年4月30日 市指第27号	円応寺	武雄町富岡	建造物
32	重要文化財	武雄の蘭書	138冊 平成6年4月27日 市指第29号	武雄市	武雄市図書館・ 歴史資料館	典籍
33	重要文化財	郷ノ木遺跡出土 小形仿製鏡	1面 平成6年4月27日 市指第30号	武雄市教育委員会	武雄市図書館・ 歴史資料館	考古資料
34	重要文化財	川古のクス幹彫り 観音立像 (附)銅造如意輪観音坐像	1軀 1軀 平成6年11月30日 市指第31号	武雄市	若木町川古	彫刻
35	重要文化財	木造後藤貴明公像	1軀 平成7年5月2日 市指第32号	貴明寺	武雄町永島	彫刻
36	重要文化財	南樞志	78冊 (170巻) 平成7年5月2日 市指第33号	武雄市	武雄市図書館・ 歴史資料館	典籍
37	重要無形民俗文化財	武雄供日の 流鏝馬行事	1団体 平成7年11月8日 市指第34号	武雄流鏝馬保存会	武雄市武雄町	行事
38	重要文化財	大砲等設計図及び切形	1括 平成8年5月13日 市指第35号	武雄市	武雄市図書館・ 歴史資料館	歴史資料
39	重要有形民俗文化財	炭鉦絵馬	1面 平成9年9月5日 (北方)町指第2号	大崎八幡社	武雄市図書館・ 歴史資料館(寄託)	民俗資料
40	重要有形民俗文化財	四季耕作図絵馬	1面 平成9年9月5日 (北方)町指第3号	稲主神社	武雄市図書館・ 歴史資料館(寄託)	民俗資料
41	重要文化財	地球儀	1基 平成10年4月3日 市指第36号	武雄市	武雄市図書館・ 歴史資料館	歴史資料
42	重要文化財	天球儀	1基 平成10年4月3日 市指第37号	武雄市	武雄市図書館・ 歴史資料館	歴史資料
43	重要文化財	有馬之役 戦死者慰霊碑	1基 平成10年4月3日 市指第38号	円応寺	武雄町川良	歴史資料
44	重要文化財	如来形座像浮彫	3面 平成11年3月3日 (山内町)重第7号	定林寺	山内町宮野	彫刻
45	重要文化財	五鈷杵	1口 平成11年3月3日 (山内町)重第8号	定林寺	山内町宮野	工芸品
46	重要有形民俗文化財	四季耕作図絵馬	1面 平成11年3月3日 (山内町)重第1号	黒髪神社	佐賀県立博物館 (寄託)	絵画
47	重要有形民俗文化財	天井絵	150面 平成11年3月3日 (山内町)重第3号	鳥海区	山内町鳥海	民俗資料
48	重要文化財	薬師如来立像	1体 平成11年3月3日 (山内町)重第9号	船ノ原区	山内町鳥海	彫刻
49	重要文化財	俱利迦羅龍王碑	1基 平成11年4月30日 (北方)町指第4号	勇猛寺	北方町大渡	建造物(石造)
50	重要文化財	陽刻線描宝塔	1基 平成15年3月27日 市指第39号	武雄温泉株式会社	武雄町武雄 淀姫神社下路傍	彫刻
51	重要文化財	黒髪神社の肥前鳥居	3基 平成15年3月27日 (山内町)重第10号	黒髪神社	山内町宮野	建造物
52	重要無形民俗文化財	黒髪神社の流鏝馬神事	平成15年3月27日 (山内町)重無第1号	黒髪神社流鏝馬奉賛会	山内町宮野 及び山内町内	行事
53	重要文化財	木造牛頭天王坐像 (附)木造神像等	1軀 8軀 平成16年4月30日 市指第40号	小楠区	武雄市図書館・ 歴史資料館(寄託)	彫刻
54	史 跡	李祥古場窯跡	1基 平成16年4月30日 市指第41号	個人3名	武内町真手野	遺跡(古窯跡)
55	天然記念物	馬場の山桜	1株 平成17年3月30日 市指第42号	個人	武内町真手野	樹木
56	重要文化財	緑褐釉櫛目草文大皿	1点 平成18年2月23日 市指第43号	個人	武雄市内	工芸品
57	重要文化財	象嵌鶴文大皿	1点 平成18年2月23日 市指第44号	個人	武雄市内	工芸品
58	重要文化財	鉄絵緑彩松樹文大皿	1点 平成18年2月23日 市指第45号	個人	武雄市内	工芸品

59	重要文化財	鉄絵緑彩岩松樹文甕	1点 平成18年2月23日 市指第46号	個人	武雄市内	工芸品
----	-------	-----------	----------------------------	----	------	-----

	種 別	名 称	員 数	指 定 年 月 日	所 有 者(管 理 者)	所 在 地	種 別 内 容
60	重要無形民俗文化財	三間坂の荒踊	1団体	平成19年3月30日 市指第47号	三間坂無形文化財保存会	山内町三間坂	民俗芸能
61	重要文化財	皆春齋御絵具	1括	平成20年2月21日 市指第48号	武雄市	武雄市図書館・ 歴史資料館	歴史資料
62	重要文化財	肥前全図	1舗	平成21年3月30日 市指第49号	武雄市	武雄市図書館・歴 史資料館	歴史資料

合計 105件 (平成21年4月1日現在)

## 6. 民俗芸能

### (1) 真手野の舞浮立…武内町大字真手野 (4月第1日曜日)

武雄領主第26代鍋島茂明が、宝暦年間(1751~1764)に江戸参勤のため三州岡崎を通った際、土地の踊りを観て大変気に入り、わざわざ家来を岡崎に差し向け伝授されたのが今日の武雄の浮立となっている。

従来の浮立に岡崎の浮立を加えたもので、全部で33曲が伝えられている。曲目の中には「討入り」あるいは「詰太鼓」と呼ばれる戦いの場面を思わせる勇壮な気迫に満ちたものや、岡崎・江戸と呼ばれる徳川家康ゆかりの地名のついた曲もある。

### (2) 大日の皮浮立…橋町大字大日 大日如来堂 7月28日

皮の楽器を主体とした浮立からこの名が付けられている。この祭りの起源は確かではないが、浮立の分布状況は大体杵島山を囲む山麓一帯(橋・橋下・須古・白石)に集中している。

杵島山は、歌垣山として古くから世に伝わり、1,300~1,400年前から歌垣の集いと称して現今も様々な催し物が行われている。また、この皮浮立が杵島山周辺に多く伝えられていることは歌垣当時から伝わった民俗芸能ではないかとも考えられる。

この皮浮立は、笛、大太鼓、モリヤーシ(締太鼓)・鼓・大胴という楽器を10人前後で演奏する。

### (3) 武雄の荒踊…朝日町中野(磐井八幡社)・西川登町高瀬(松尾神社)

・東川登町宇土手(正一位神社)

9月23日

武雄の荒踊は旧武雄領のみに伝わる芸能で、その由来は遠く今から470年前の享禄3年(1530)、島原の領主有馬仙岩が武雄の領主後藤純明を住吉城に攻めたとき、純明は闇夜に乗じて勇敢なる逆襲を以って有馬方の強兵を白水原にて討ち破り、宇土手が原において戦勝を祝して大いに踊ったのがこの荒踊りの始まりと言われている。戦前までは約20地区に伝承されていたが、現在は上記の3地区が武雄の荒踊として国の重要無形民俗文化財に指定されている。踊りの所作などは地区によって違いが見られ、山内・武内・武雄の各町内の数地区でも受け継がれている。踊り手約25人、笛3~5人、大太鼓1人、モリヤーシ(締太鼓)3~5人、鉦は大小7個、警固2~3人、旗持ち1人などで構成されている。

### (4) 袴野面浮立…東川登町袴野 貴船神社 9月23日

今から約500年前、神埼郡目達原において豊後の大友宗麟と肥前の龍造寺隆信が大兵を挙げて戦った時、大友軍の勇敢な騎兵隊のために龍造寺軍は危うく一敗地に塗れんとした。当時龍造寺軍の客分であった鍋島の豪族、鍋島平衛門が自分の一族郎党に鬼の面と「しやぐま」の毛をかぶらせ、陣鐘・陣太鼓の音に合わせ、声を上げて敵軍大友の騎兵隊の中に突入したところ、騎兵隊の馬がこの異様な装束に驚き浮き足立った。龍造寺軍は機を逸せず反撃に転じた為、戦に勝利することができた。その勝利の祝宴のとき、鍋島方は一様に鬼の面をかぶり、鐘・太鼓・笛の音に合わせて踊りぬいたのが面浮立の起源と伝えられ、旧鍋島藩即ち佐賀県及び長崎県の一部に広く伝承されている。

しかし、本来は雨乞いや悪魔を払い去り、福を招き、五穀豊穰、家内安全を祈念する踊りと考えられている。

親面という赤と青の面を付けた2人の先導役が立ち、その後ろに踊り手は鬼の面を付け三列縦隊で笛・太鼓・鐘の音に合わせてモリヤーシを打ちながら上下の躍動を中心に踊りを披露する。

**(5) かんこ踊**…山内町大字鳥海船の原地区 鎮守八幡神社 9月23日

壇ノ浦での源平合戦に敗れた平家一門が船の原に隠れ、平維盛の子である六之助らが、都をしのび平家家風の手踊りを踊ったのが始まりといわれている。9月の氏神の秋祭りに船の原地区で踊られる伝統芸能で、昭和41年に県重要無形民俗文化財に指定された。

**(6) 山内の浮立奉納** 9月23日

9月の彼岸に五穀豊穡を願って行われる祭り。山内町の11地区で彼岸ごもりの奉納として踊られる。その演目はさまざまで、江戸浮立、蛇浮立、猪浮立、虎浮立、銭浮立などがある。

**(7) 志久七囃子浮立**…北方町大字志久 稲主神社 7月19日・10月18日 (H21)

稲主神社に伝わる浮立で、木ノ元父子を稲主大明神として祭った嘉禎元年(1235)に始まった舞浮立。志久郷氏が木ノ元夕路木こと源頼茂公の霊を鎮めるために愛児七人になぞえ七囃子を舞う。

**(8) 武雄供日の流鏝馬行事**…武雄町八並区、武雄区、下西山区、朝日町甘久区 10月22、23日

寿永3年(1183)源頼朝が平家討伐の必勝祈願のため武雄神社に使者を送ったところ、武雄神社から飛来した白鷺が源氏を守護し見事勝利することができたので、文治2年(1186)武雄神社に教書を送り戦勝を深謝し、さらに勅使を送った。これを迎え武雄領主が、武雄神社で流鏝馬を奉納したのが始まりといわれている。

流鏝馬行事は10月22日に前夜祭の宵のまつり(エイトウ)と、10月23日に流鏝馬が行われる。

宵のまつりは朝日町甘久区担当で、夕刻に甘久区を武雄神社に向けて出発する。武雄神社で荒踊りを奉納し、帰路長持ちを青竹で叩き「エイトウ、エイトウ」と囃したてながら市街地を練り歩き甘久区まで帰る。

流鏝馬行事は武雄町八並区、武雄区、下西山区担当で、八並区から流鏝馬行列が出発し、市街地を通り武雄神社へ向かう(上り馬)。武雄神社での神事後、神社前の馬場で流鏝馬奉射・競射を行い、また市街地を通り八並区へと帰る(下り馬)。流鏝馬行列は華麗な鎌倉絵巻のようで、馬上から弓を射る姿は勇壮で圧巻である。

**(9) 黒髪神社の流鏝馬神事**…山内町大字宮野 10月29日

久寿元年(1154)鎮西八郎為朝が黒髪山を駆け回り大暴れしていた大蛇を退治した祝いとして奉納されたのが始まりといわれている。武芸の修練のために武士の間で行われていた流鏝馬は、武士のいでたちで馬にまたがり、馬上から鏑矢で3つの的を次々と射抜く様子は、勇壮にして華麗である。

## 7. 武雄の旬な特産品

### (1) 武雄育ちのレモングラス

平成 19 年 5 月から武雄の特産化を目指し栽培がはじまり、現在市内 4 地区、3 万株のレモングラス（西インド産 90%、東インド産 10%）が作られている。レモングラスは熱帯アジア原産イネ科のハーブで、レモンのような香りが特徴。レモングラスに含まれるシトラールは心身の疲れを癒し、集中力を高める効果がある。用途としてはハーブティーや、タイ料理の「トムヤンクン」が有名で、市内旅館ではウェルカムドリンクとして、また武雄産の豚肉「若楠ポーク」を使ったレモングラスしゃぶとしてメニューに取り入れるなど、工夫をこらした利用法がされている。

#### レモングラスを使った商品一例

- ・ゼリー、プリン、ロールケーキ、クッキー、生チョコ、ところてん
- ・入浴剤、せっけん、ポップリ など



#### レモングラス関連商品販売所

- ・武雄温泉物産館
- ・道の駅「黒髪の里」
- ・Détente(デタント)
- ・まちなか案内所「がばい」
- ・武雄温泉ハイツ
- ・MARICA(マリカ) など
- ・武雄温泉駅観光案内所
- ・東川登サービスエリア

### (2) 「黒」商品

山内町のシンボルである黒髪山の「黒」にこだわった特産品。開発段階で目を付けたのが、黒米の栽培と、黒米を活用した商品開発。黒米は古くから栽培されてきた米で、「古代米」ともいわれている。ビタミンなどのミネラルが豊富なほか、黒米に含まれる紫色の色素が胃腸を丈夫にするなどの効果がある。地元農家や業者の協力を得てつくられた「黒」商品は今では 12 種類にも及ぶ。また最近では、黒スイカ、黒大根、黒ピーマンなど黒野菜の栽培もされている。

#### 「黒」を使った商品

- ・黒米
- ・黒麺類（ラーメン、うどん、そば、 pasta）
- ・黒米パン
- ・黒米水飴
- ・黒米味噌
- ・黒米ソフトクリームなど



#### 「黒」商品販売所 道の駅山内「黒髪の里」 TEL 0954-45-6009

### (3) 若楠ポーク

「若楠ポーク」は、安全な飼料を与え育てられた武雄のブランド豚。肉の特徴として、臭みがなく、きめ細かく、柔らかい。良質なタンパク質やビタミン B1 が豊富に含まれており、健康維持にも適している。市内旅館や飲食店では、若楠ポークをつかった料理が提供されている。



### (4) いのしし肉

農作物被害が深刻になり、その対策として捕獲したイノシシを地域資源として有効活用。イノシシ肉には、人の成長に欠かせない良質のたんぱく質をはじめ、新陳代謝を促すビタミン B 群も多く含まれている。脂質や糖質の代謝を促してダイエットにも効果的。いのしし肉のブランド化を目指し、地元の旅館・ホテル、料理店などで開発が進められている。



## 8. 武雄市内の開催イベント

(平成 21 年度)

開催期日	イベント名	内 容	場 所
4 月 5 日・ 4 月 6 日	武雄温泉春まつり	前夜祭の宵神輿、本祭の稚児行列やさくら踊り等催し多彩。	武雄温泉周辺
4 月 5 日	春の ほのぼのまつり	山内町の特産品「黒米」を使ったもちつき体験や楽焼体験など。	黒髪の里
4 月 1 日～ 5 月 6 日	御船山楽園 花まつり	御船山を背景に約 5 万本のツツジと桜が咲き乱れる。	御船山楽園
4 月上旬～ 4 月下旬	シャクナゲ祭り	4 月から 5 月にかけて約 20 種類 1,000 本のシャクナゲが見頃を迎える。	高野寺
4 月 26 日	四季の丘フェスタ in きたがた	メインイベントはトロッコを利用した人間鞍馬トロッコレース。	きたがた四季の丘公園
5 月 23 日 ～6 月 7 日	ほたるまつり	保養村施設の一部無料開放ほかイベント多彩。夜は一万匹のほたるが乱舞する。	武雄温泉保養村
5 月 31 日	水上美味暮 まんじゅう大会	ほたるまつり期間中のイベント。こどもから大人まで楽しめる。	武雄温泉保養村
5 月 31 日	うめ～ランド	御船が丘梅林の梅ちぎりやうめダーツ大会などイベント盛り沢山。	御船が丘梅林
6 月 5 日 ～6 月 30 日	あじさいまつり	境内一面に約 5 千株の色とりどりのアジサイが咲き誇る。	大聖寺
7 月 28 日	大日皮浮立	笛のほか、皮で作った太鼓などで演奏される。市重要無形文化財。	橘町大日 大日如来堂
8 月 2 日	夏の ふれあいまつり	カブトムシ大運動会や、「黒」を味わうイベントなど盛りだくさん。	道の駅「黒髪の里」
8 月 16 日	北方町盆踊り大会	町民総出で賑やかに踊る。お楽しみバザーなどあり。	北方グラウンド
8 月 7 日 ～8 月 16 日	灯ろうまつり	500 個の手づくり紙灯ろうが温泉通りを飾る。※8/8 イベント	武雄温泉通り
8 月 23 日	お不動さんまつり	鎮西八郎為朝が退治したといわれる大蛇の歯が公開される。	大聖寺
9 月 23 日	武雄の荒踊奉納	武士が戦勝を祝して踊ったのが始まり。腰に大小の刀を差して勇壮に踊る。国重要無形民俗文化財。	中野 磐井八幡社 高瀬 松尾神社 宇土手 正一位神社
9 月 23 日	袴野面浮立奉納	鬼の面を付けて踊る代表的な浮立。市重要無形民俗文化財。	東川登町袴野 貴船神社
9 月 23 日	山内の浮立奉納	山内町内各地区で様々な浮立が奉納される。	山内町

10月中旬	名月バンコまつり	温泉どおりに約 50 個のバンコが並べられ秋の夜長をじっくり楽しむ。	武雄温泉どおり
10月18日	志久七囃子浮立	嘉禎元年に始まった舞浮立。市の重要無形民俗文化財。	北方町稲主神社
10月21日	弓野くんち市 フェスティバル	今年で12年目を迎える。だご汁のふるまいや‘くじら売り’は必見。	弓野くんち市会場
10月22 ～23日	武雄温泉秋まつり	お供日行事。前夜祭は宵のまつり（エイトウ）。本祭は822年の伝統を誇る流鏝馬。	武雄町中町 武雄神社周辺
10月29日	黒髪神社・流鏝馬	黒髪神社参道で奉納される。	黒髪神社
11月初旬	山内まるごと体験 ツアー	山内のやきもの、食、自然を満喫する体験型イベント。	山内町全域
11月23日	湖水まつり	ロードレース大会、日本一を食う会等催し多彩。	若木町本部ダム
11月下旬	民陶火まつり	陶芸の里、黒牟田で行われる窯元主催のミニ陶器市。	武内町黒牟田
11月下旬	黒髪山陶芸作家村 秋の窯開き	秋の紅葉を眺めながら窯元散策。各窯元さんの作品を安価で販売。	黒髪山麓一帯
12月5日 ～6日	がばい武雄の物産 まつり	地元の農産物・名産品・商工製品等紹介や、各種イベント開催。	武雄温泉駅一帯
12月30日	夫婦岩 ライトアップ	夫婦和合を願い、夫婦岩をライトアップ。猪鍋や黒米のふるまいあり。	乳待坊公園
2月上旬～ 3月中旬	観梅まつり	御船が丘梅林の開花に合わせて、茶会・俳句・短歌会等行事を開催。	御船が丘梅林周辺
2月上旬～	ひなまつり	日本全国より多種多様な人形を一堂に集め展示即売を行う。	武雄温泉どおり
2月28日	お不動さんまつり (火渡り行)	法要の後、残り火の上を歩き一年間の無病息災を願う祭り。	大聖寺
2月下旬	弥生・窯酔いまつり	山内町内の窯元主催によるやきもの市や地元特産物の販売などを行う。	道の駅「黒髪の里」 東側広場
毎週日曜日 7時～(夏) 7時半～(冬)	武雄温泉 「楼門朝市」	採れたての海の幸・山の幸が一同に集まる楼門朝市。朝市でしか買えない武雄オリジナルの特産品も人気。	武雄温泉どおり

## 8. 周辺観光地とのアクセス

### (1) 吉野ヶ里遺跡…神埼郡吉野ヶ里町大字田手 1843 (TEL 0952-55-9333)

国の特別史跡に指定された吉野ヶ里遺跡は、約 2,000 年前の弥生時代の国内最大級の環濠集落跡。広大な園内には、出土品を集めた展示室や竪穴式住居、物見櫓などが復元されている。

### (2) 祐徳稲荷神社…鹿島市大字古枝乙 1855 (TEL 0954-62-2151)

日本三大稲荷の一つに数えられる神社。五穀豊穰・商売繁盛・家運繁栄・交通安全などの守護神として信仰が厚い。車で 30 分。

### (3) 有田ポーセリンパーク…有田町大字戸矢乙 340-28 (TEL 0955-41-0030)

日本とヨーロッパの陶磁器発祥の地である有田やマイセンを始め世界の陶磁器が一堂に集い、東西文化が華やかに交流しているテーマパークである。

### (4) ハウステンボス…長崎県佐世保市ハウステンボス町 1-1 (TEL 0956-58-0080)

自然との共生を目指したボタニカルリゾート。年間を通して色とりどりの花を楽しむことができる。車で 40 分、JR で 40 分。

### (5) 佐賀城本丸歴史館…佐賀市城内 2-18-1 (TEL 0952-41-7550)

全国最大規模の木造建造物で、幕末・維新期の佐賀をわかりやすく紹介。平成 16 年 8 月 1 日オープン。車で 40 分。

### (6) 唐津城・虹ノ松原…唐津市 (唐津市観光協会 : TEL 0955-74-3355)

慶長 13 年 (1608 年) に唐津初代藩主寺沢志摩守広高が築城。現在の唐津天守閣は、昭和 41 年の建設。別名舞鶴城。車で 50 分。

また、虹ノ松原は青々とした玄界灘に沿って 5 km もの松の群生が続く松原。日本の渚 100 選にも選ばれている。車で 50 分。

### (7) 長崎市…車で高速利用 1 時間、JR で 1 時間 30 分。

### (8) 佐賀空港…車で 40 分。

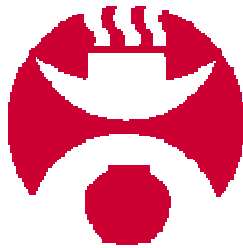
### (9) 長崎空港…車で高速利用 40 分。

### (10) 福岡空港…車で高速利用 1 時間 30 分、JR で 1 時間。



## 10. 各施設問合せ先（市内・市外）

◇市内の各施設（0954）～	
武雄市役所代表	23-9111
武雄市役所観光課	23-9237
武雄市観光協会	23-7766
武雄温泉駅観光案内所	22-2542
まちなか案内所「がばい」	23-1145
武雄焼陶磁器ショップ「緑青」	23-1017
図書館・歴史資料館「エポカル武雄」	20-0222
佐賀県立宇宙科学館	20-1666
武雄商工会議所	23-3161
保養村エントランス	23-7020
保養村ボート乗り場	23-2854
スカイバス駅舎	22-5077
武雄温泉物産館	22-4597
武雄温泉株式会社	23-2001
道の駅山内「黒髪の里」	45-6009
四季の丘公園（管理棟）	090-4513-1310
温泉タクシー	23-6161
武雄タクシー	23-1111
◇団体・法人ほか	
佐賀県観光課	0952-25-7098
佐賀県観光連盟	0952-26-6754
嬉野温泉観光協会	0954-43-0137
有田町企画商工観光課	0954-46-2500
伊万里市観光協会	0955-23-3479
◇キャンプ場	
眉山キャンプ場	0954-22-3227（白岩体育館）
乳待坊公園いこいの広場キャンプ場	0954-45-2139（山内公民館）
神六山公園ふれあい広場キャンプ場	0954-45-2139（山内公民館）



“いで湯と陶芸のふるさと武雄温泉”

佐賀県武雄市武雄町大字昭和 1 番地 1

武雄市営業部観光課

TEL 0954-23-9237

FAX 0954-23-7102

山内支所まちづくり課

TEL 0954-45-2909

北方支所まちづくり課

TEL 0954-36-6023